



ワールドホールディングス

WORLD  
HOLDINGS



# Create a Sustainable World.

2022年度12月期 決算説明資料

通期

2023年2月22日(水)

株式会社ワールドホールディングス

東証プライム(2429)

# CONTENTS 目次

I



2022年12月期  
決算概要

P.03

II



2023年12月期  
業績見通し

P.12

III



中期経営計画の進捗

P.16

IV

Appendix

P.21

V

会社案内

P.27



## 2022年12月期 通期決算概要

- P.4 決算サマリー
- P.5 業績概況
- P.6 業績概況(セグメント別)
- P.7 プロダクツHR事業
- P.8 サービスHR事業
- P.9 不動産事業
- P.10 情報通信事業
- P.11 農業公園事業

## 全体サマリー

基幹ビジネスである人材教育  
ビジネスが好調に推移し全体を牽引

売上高

**1,836**億円

YoY +18.7%

営業利益

**89**億円

YoY +19.3%

## 人材教育 ビジネス

緻密なマーケティングの下で推し進  
めてきたポートフォリオ適正化等の  
事業戦略により順調に推移

売上高

**1,328**億円

YoY +26.6%

セグメント利益

**51**億円

YoY +29.4%

## 不動産 ビジネス

的確な売却タイミングを捉え、  
販売・引渡しを期初計画以上に進め、  
増収増益

売上高

**380**億円

YoY +2.9%

セグメント利益

**31**億円

YoY +6.8%

## 情報通信 ビジネス

携帯電話販売代理店業界が大き  
な変革期で手数料収入が減少

売上高

**83**億円

YoY  $\Delta$ 10.3%

セグメント利益

**1.2**億円

YoY +6.3%

## 農業公園 ビジネス

適切な誘引施策でコロナ禍以前の  
入園者数推移に戻り増収増益

売上高

**43**億円

YoY +28.1%

セグメント利益

**1.5**億円

YoY -

- 増収増益で、売上高・営業利益・経常利益において過去最高を更新
- 2022 2Qに上方修正した修正計画も達成
- 複数事業・複数業種による事業ポートフォリオが奏功し着実な成長

(百万円、%)	2021/12 実績	2022/12 期初計画	2022/12 修正計画	2022/12 実績	計画比(修正計画)		前年同期比	
					増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	154,704	168,828	180,000	<b>183,640</b>	3,640	2.0%	<b>28,935</b>	<b>18.7%</b>
営業利益	7,481	6,244	8,400	<b>8,929</b>	529	6.3%	<b>1,447</b>	<b>19.3%</b>
経常利益	7,738	6,053	8,200	<b>8,933</b>	733	8.9%	<b>1,195</b>	<b>15.4%</b>
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,626	3,862	4,600	<b>5,341</b>	741	16.1%	<b>715</b>	<b>15.5%</b>

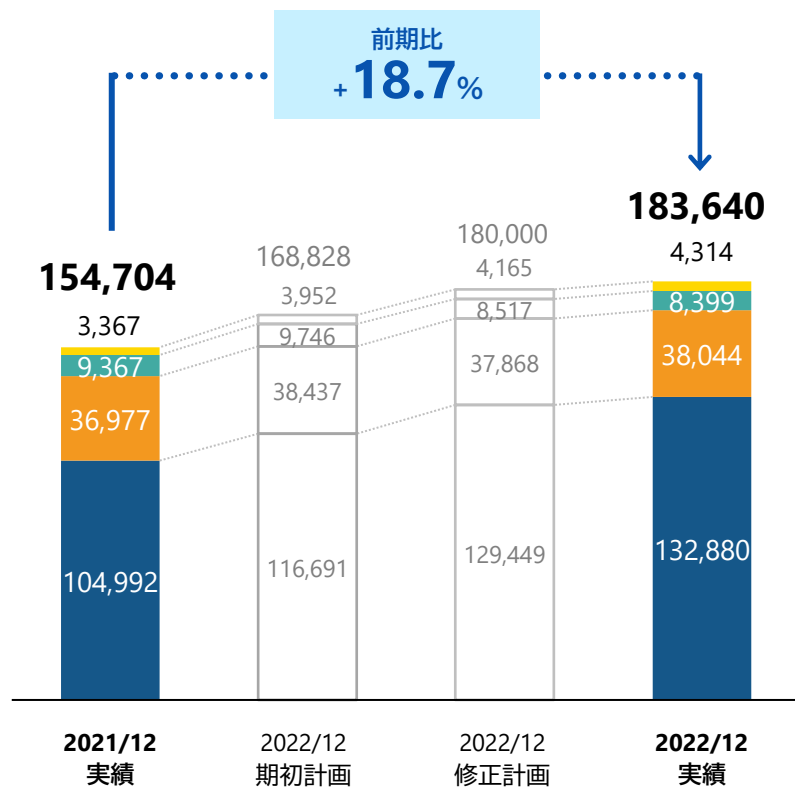
# 業績概況(セグメント別)

- 「中期経営計画2026」の初年度計画(期初計画)を大きく上振れし順調なスタート
- プロダクツHR、サービスHRともに順調で、基幹の人材教育が全体を牽引
- 不動産は、的確な売却タイミングを捉え、特に利益面で大きく期初計画を上振れ

## 売上高

■ 人材教育ビジネス ■ 不動産ビジネス  
■ 情報通信ビジネス ■ 農業公園ビジネス

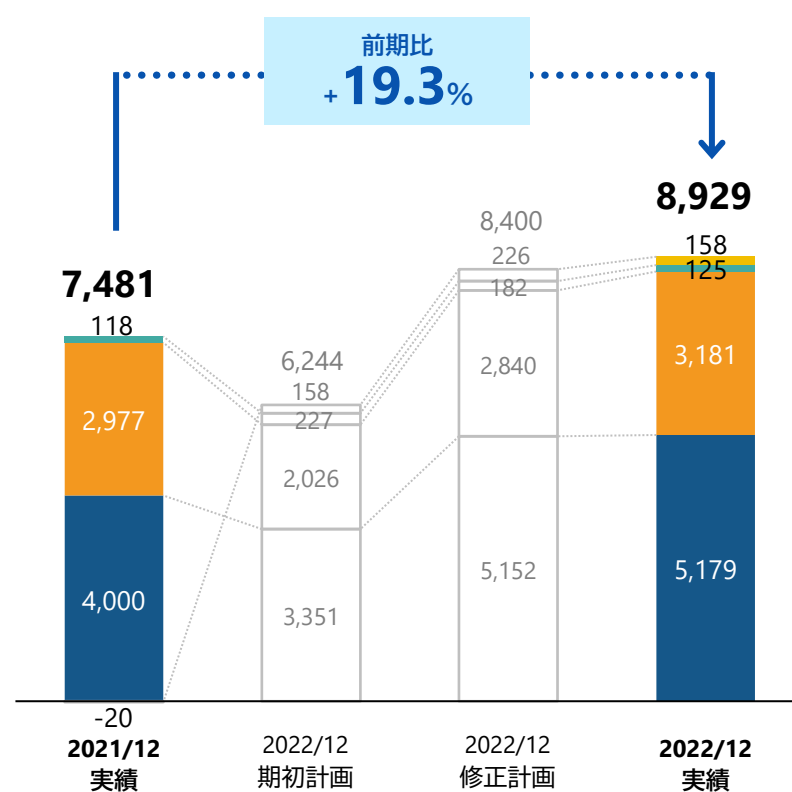
(百万円)



## セグメント利益

■ 人材教育ビジネス ■ 不動産ビジネス  
■ 情報通信ビジネス ■ 農業公園ビジネス

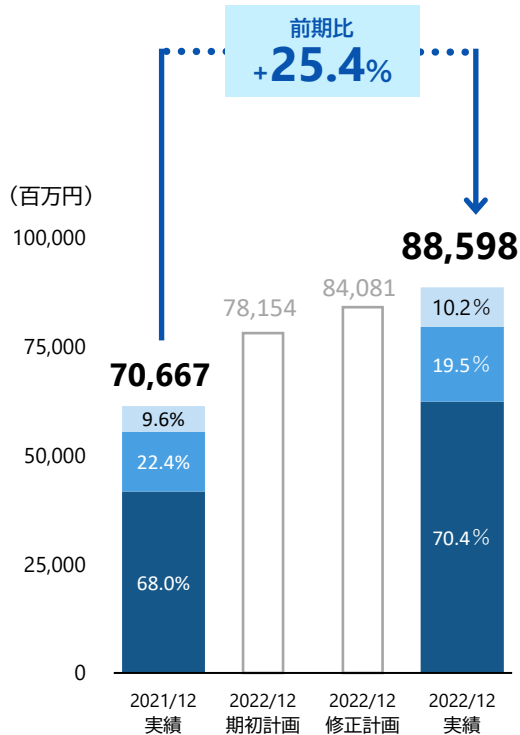
(百万円)



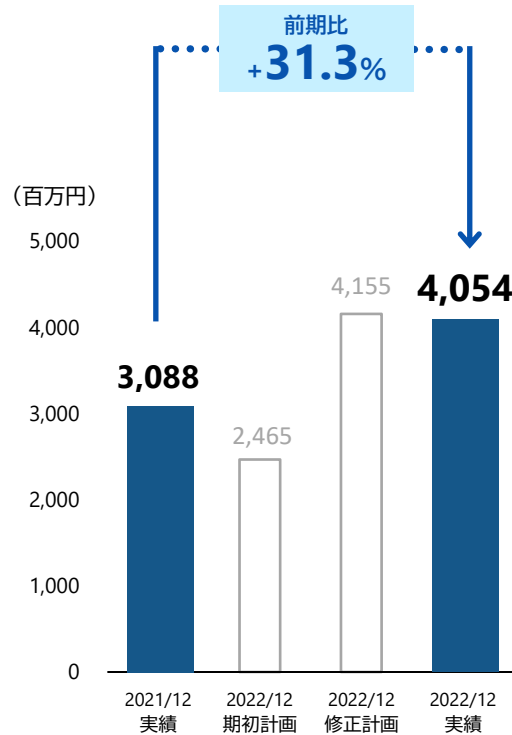
- コロナ禍や地政学的リスクの下、複数業種によるポートフォリオ適正化により順調に推移
- 半導体関連やFA機器関連の好調に加え、新たに自動車関連に進出したこと等が業績を底上げ
- 強みである「請負」「チーム派遣」現場での生産量増加、大型案件の獲得や高単価案件へのシフト、DX化による販管費の削減等が利益増に寄与

## 売上高

■ 製造 ■ 技術 ■ 研究開発

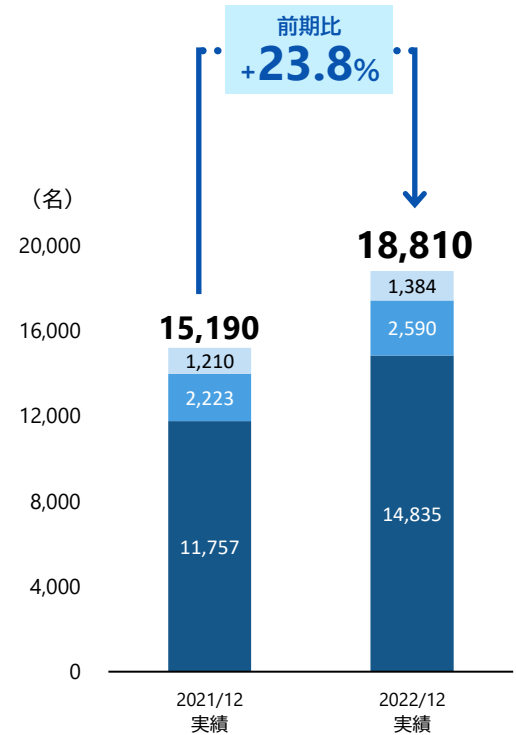


## セグメント利益



## 在籍数 ※3か月平均

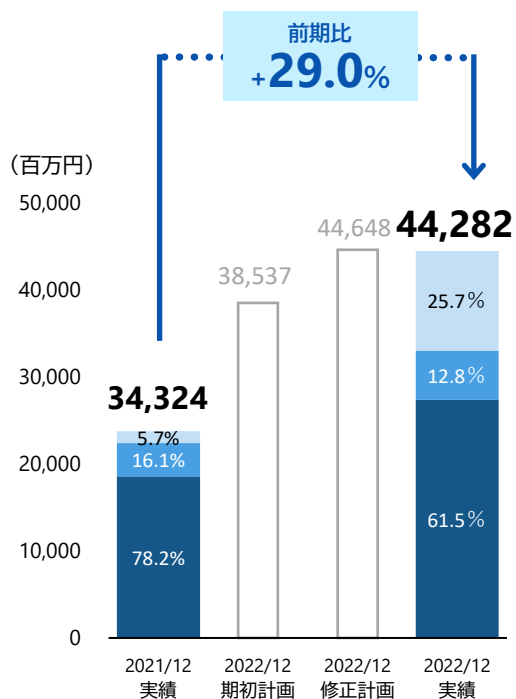
■ 製造 ■ 技術 ■ 研究開発



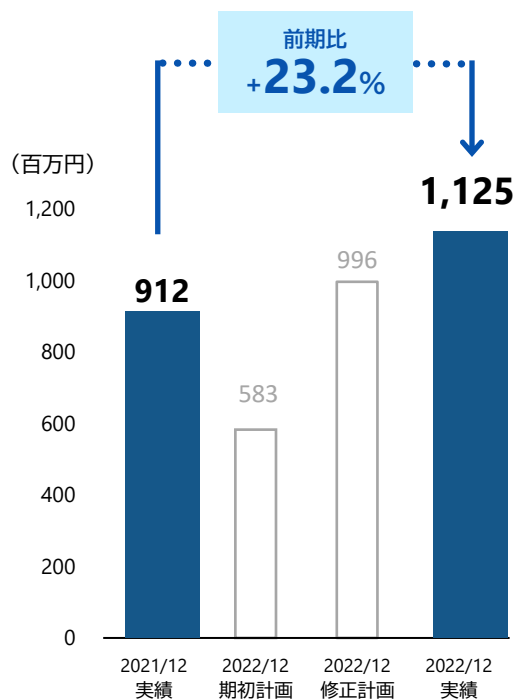
- 主力のロジスティクス関連は、新拠点の受注・立ち上げが順調に進捗
- ツーリズム関連は、JTBグループとの連携案件も順調
- 接客販売関連は、株式会社ディンプルがグループインしたことにより垂直立上げが実現
- 上期での行政関連の特需案件等が前期比の大幅上振れに寄与

## 売上高

- ロジスティクス
- コールセンター・軽作業
- 接客販売・ツーリズム

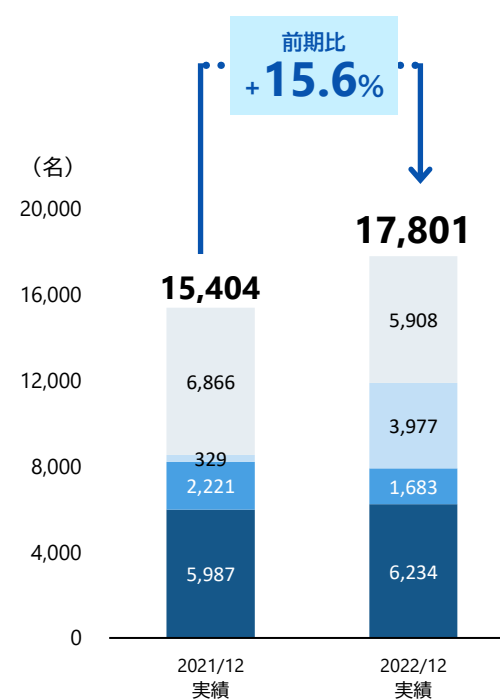


## セグメント利益



## 在籍数 ※3か月平均

- ロジスティクス
- コールセンター・軽作業
- 接客販売・ツーリズム
- コンソーシアム

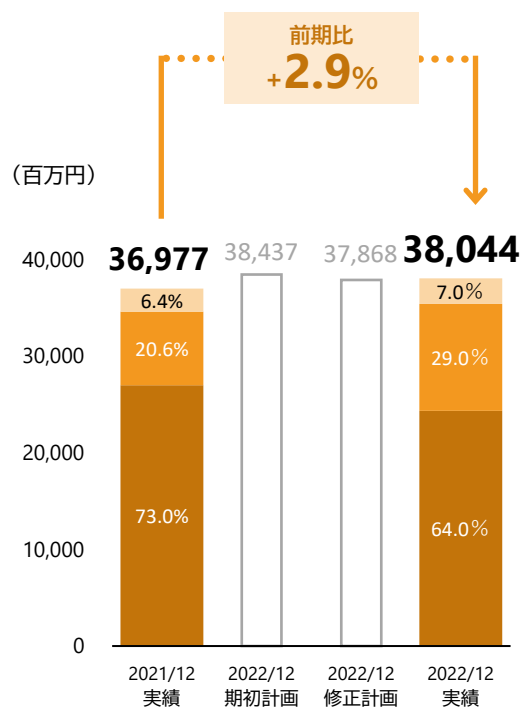




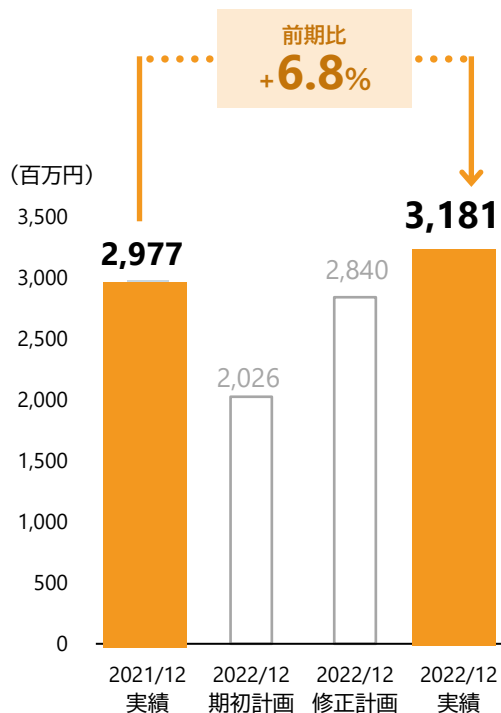
- 不動産価格の高止まりが続く中、慎重な事業展開を進める一方で、的確な売却タイミングを捉え、デベロップメント分野での販売・引渡しを期初計画以上に進めたことで増収増益
- 仕入れに関しては、潮目の変化を見極めつつ、強みである不動産M&Aや事業用地の創出ノウハウを駆使し着実に物件確保を進める

## 売上高

- デベロッパー関連
- リノベーション関連
- ユニットハウス関連

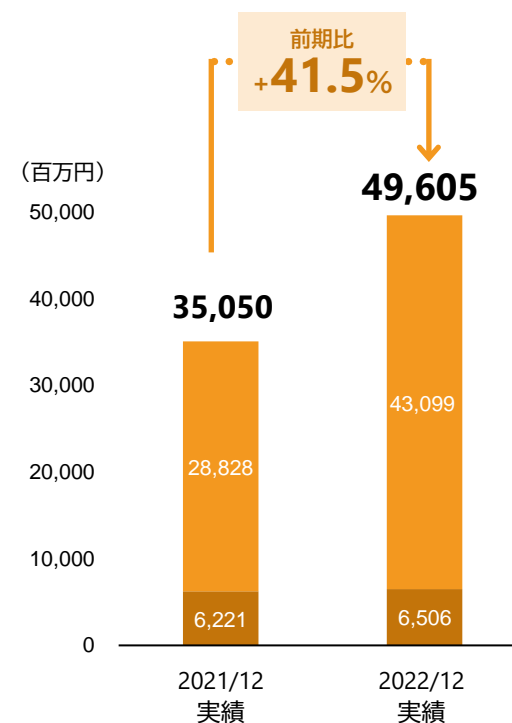


## セグメント利益



## 販売用不動産

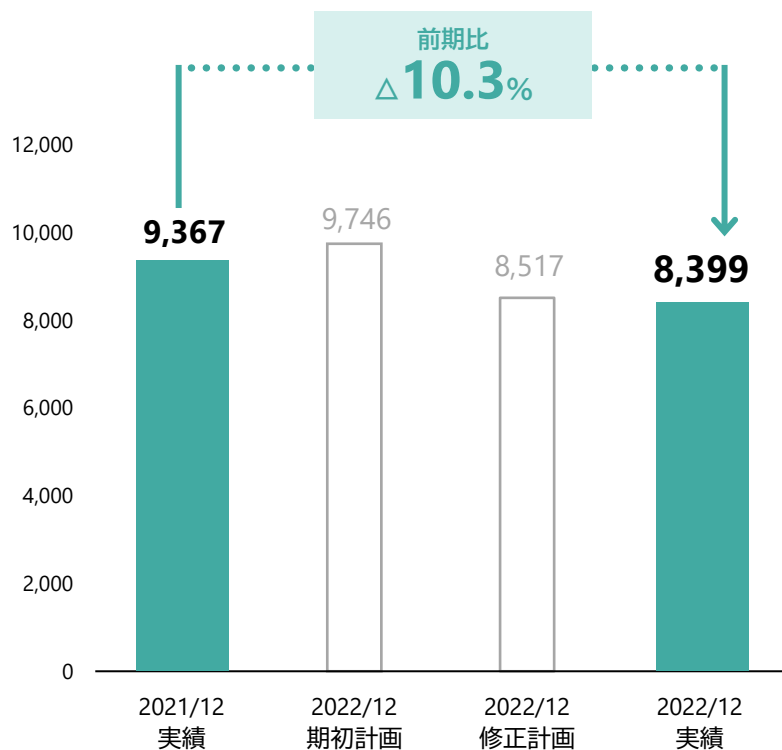
- 販売用不動産
- 仕掛販売用不動産



- 各通信事業者の携帯電話料金の値下げやそれに伴う新プランの登場等の影響で、単価の減少や手数料条件の改定等があり手数料収入が減少
- 残存者メリット享受に向けた地域に根差した優良店舗網を構築、ポートフォリオ強化を推進

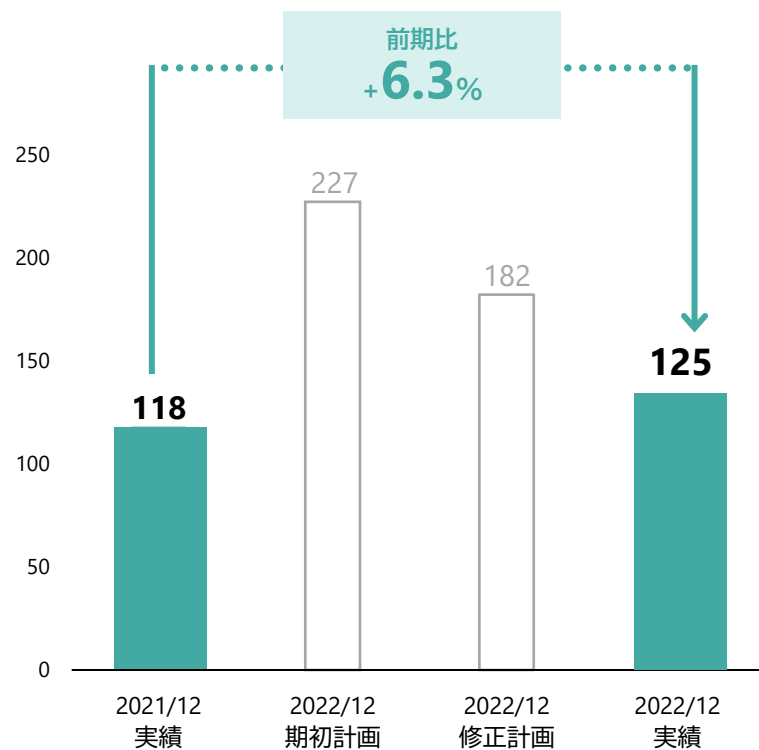
## 売上高

(百万円)



## セグメント利益

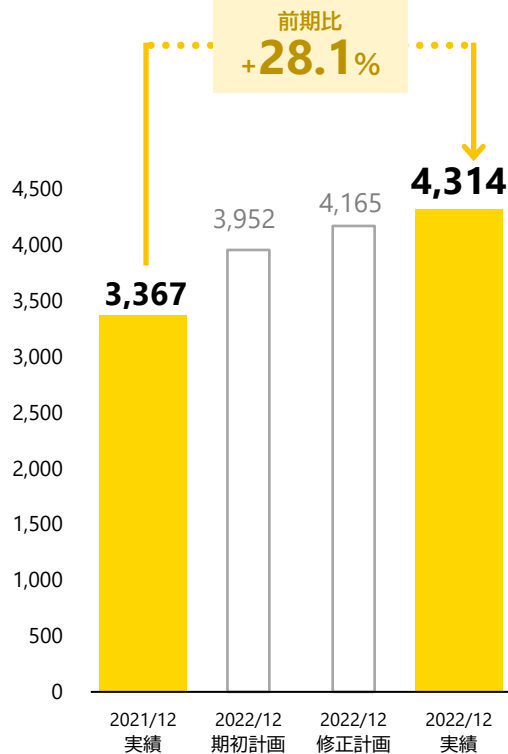
(百万円)



- コロナ禍以前の入園者数の水準へ戻し黒字転換
- コロナ禍に加え休日を中心とした天候不良、資源価格の高騰等の影響があったものの、密にならない屋外公園施設の強みを活かしたプレゼンス向上や適切な誘引施策が奏功

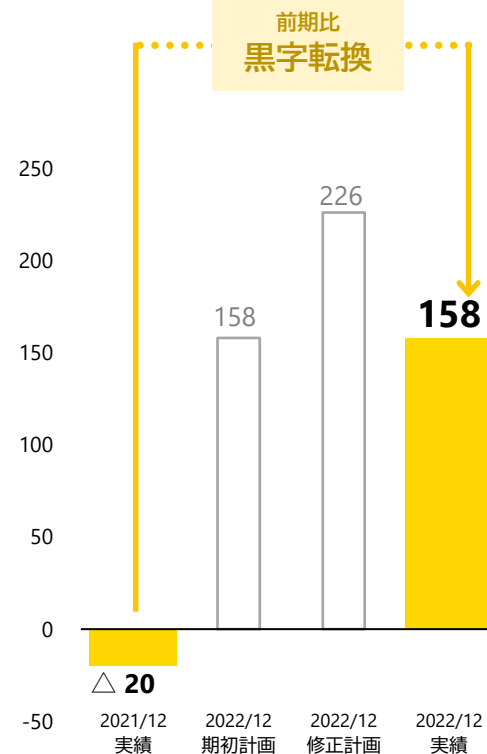
## 売上高

(百万円)



## セグメント利益

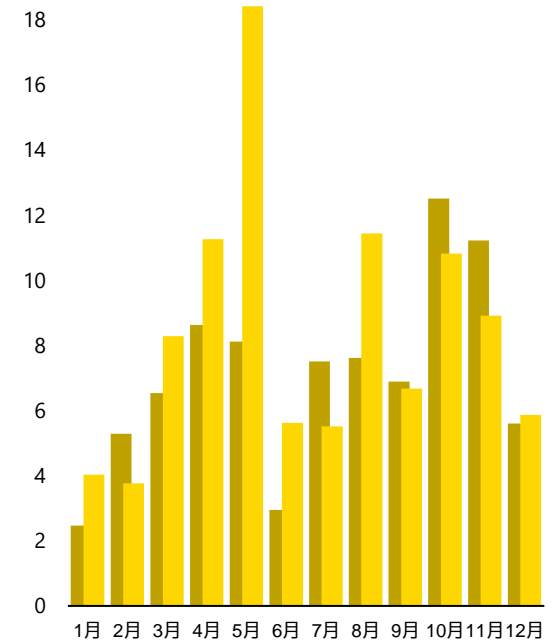
(百万円)



## 入園者数 ※直営4施設合計

(万人)

■ 2021/12 ■ 2022/12



II



**2023年12月期  
業績見通し**

- P.13** 2023年12月期通期業績見通し
- P.14** セグメント別通期業績見通し
- P.15** 株主還元

# 2023年12月期通期業績見通し

- 世界経済の減速に伴い事業環境が厳しくなることも想定し慎重な計画策定
- 主力の人材教育ビジネスで着実な成長を図ることに加え、不動産ビジネスでの販売も順調に進んでいることから、過去最高の業績を更新する見通し

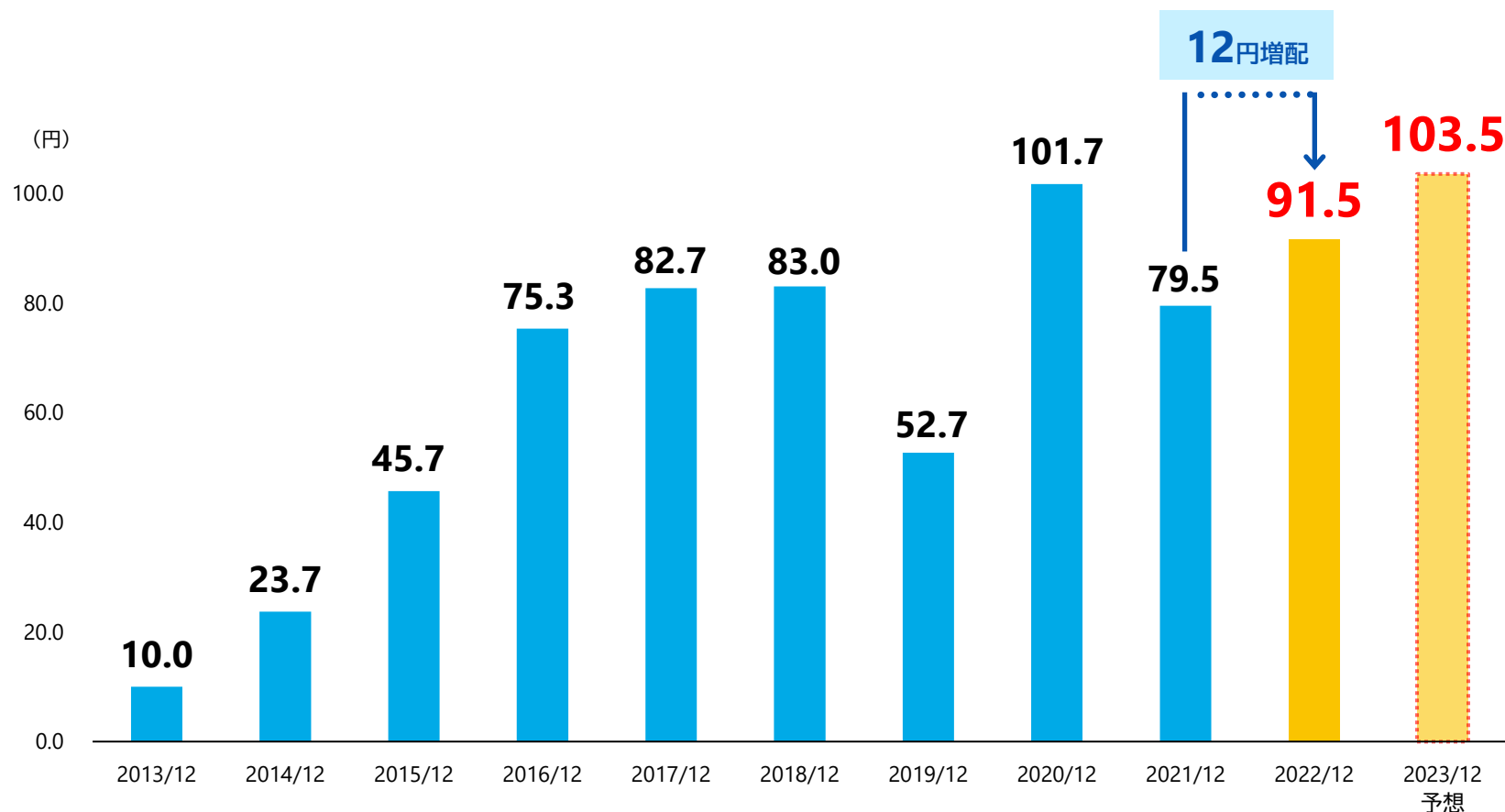
(百万円、%)	2022/12 実績	2023/12 見通し	前期比	
			増減額	増減率
売上高	183,640	<b>201,354</b>	17,714	<b>9.6%</b>
営業利益	8,929	<b>9,916</b>	987	<b>11.1%</b>
経常利益	8,933	<b>9,453</b>	520	<b>5.8%</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,341	<b>6,045</b>	703	<b>13.2%</b>
一株当たり利益(円)	305.50	<b>344.84</b>	39.34	<b>12.9%</b>
一株当たり配当金(円)	91.50	<b>103.50</b>	12.00	<b>13.1%</b>

# セグメント別通期業績見通し

- 人材教育は、特に世界経済の減速を警戒した計画を策定の上、DX化による販管費削減等を進めつつ、一方で足下での大口オーダー対応と更なる拡大に向けた採用投資を積極的に進める
- 不動産は、慎重なスタンスは継続しつつも、23年度引渡し予定のデベロップメント案件の販売が順調に進んでおり、増収増益を見込む

	(百万円)	2022/12 通期		2023/12 通期		前期比	
		実績	(利益率)	計画	(利益率)	増減額	増減率
人材教育	売上高	132,880		<b>144,104</b>		11,223	8.4%
	セグメント利益	5,179	(3.9%)	<b>5,409</b>	<b>(3.8%)</b>	230	4.4%
プロダクツHR	売上高	88,598		<b>94,732</b>		6,133	6.9%
	セグメント利益	4,054	(4.6%)	<b>4,265</b>	<b>(4.5%)</b>	211	5.2%
サービスHR	売上高	44,282		<b>49,371</b>		5,089	11.5%
	セグメント利益	1,125	(2.5%)	<b>1,144</b>	<b>(2.3%)</b>	19	1.7%
不動産	売上高	38,044		<b>44,511</b>		6,466	17.0%
	セグメント利益	3,181	(8.4%)	<b>3,728</b>	<b>(8.4%)</b>	547	17.2%
情報通信	売上高	8,399		<b>8,074</b>		△325	△3.9%
	セグメント利益	125	(1.5%)	<b>214</b>	<b>(2.7%)</b>	88	70.7%
農業公園	売上高	4,314		<b>4,664</b>		349	8.1%
	セグメント利益	158	(3.7%)	<b>208</b>	<b>(4.5%)</b>	49	31.4%
合計	売上高	183,640		<b>201,354</b>		17,714	9.6%
	消去又は全社	284		<b>354</b>		70	24.8%
	営業利益	8,929	(4.9%)	<b>9,916</b>	<b>(4.9%)</b>	987	11.1%

- 2022年度は12円の増配となり91.5円、2023年度は過去最高となる103.5円を予想
- 将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、業績に応じた利益配分を行うことを基本方針とし、配当性向30%を目安として安定的かつ継続的な配当成長を目指す



## Ⅲ

## 中期経営計画の進捗

- P.17 中期経営計画について
- P.18 人材教育ビジネスの進捗
- P.19 不動産ビジネスの進捗
- P.20 農業公園ビジネスの進捗

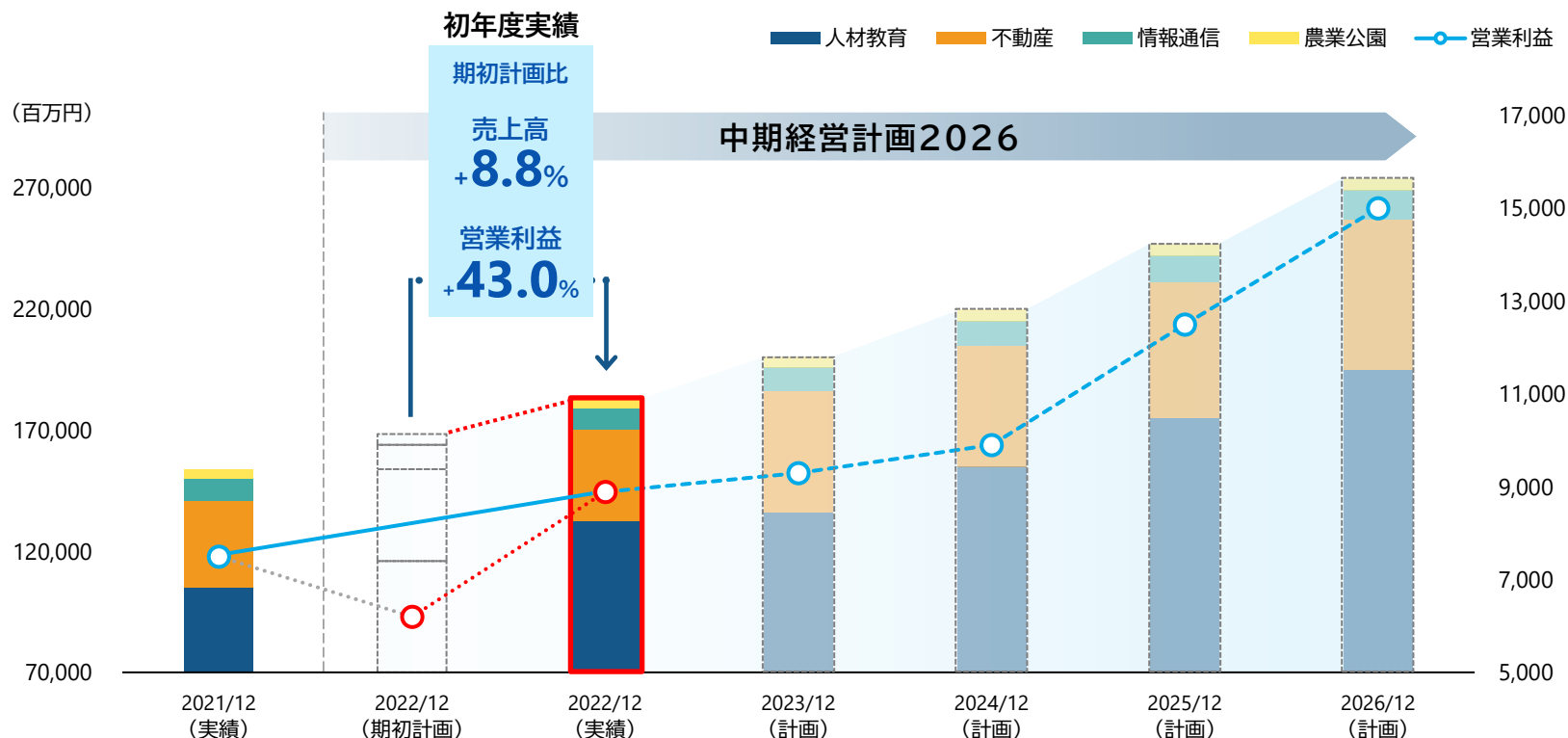


## 計画1年目として順調なスタート

- 複数事業によるポートフォリオが奏功
- 人材教育が全体を牽引

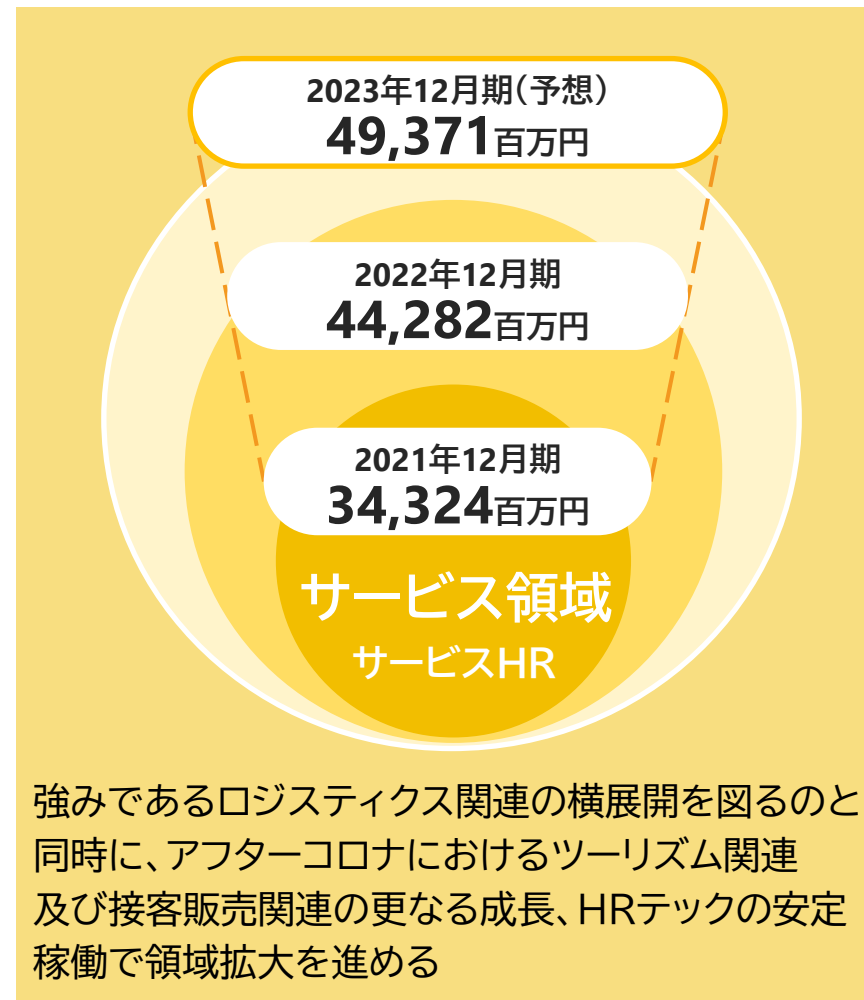
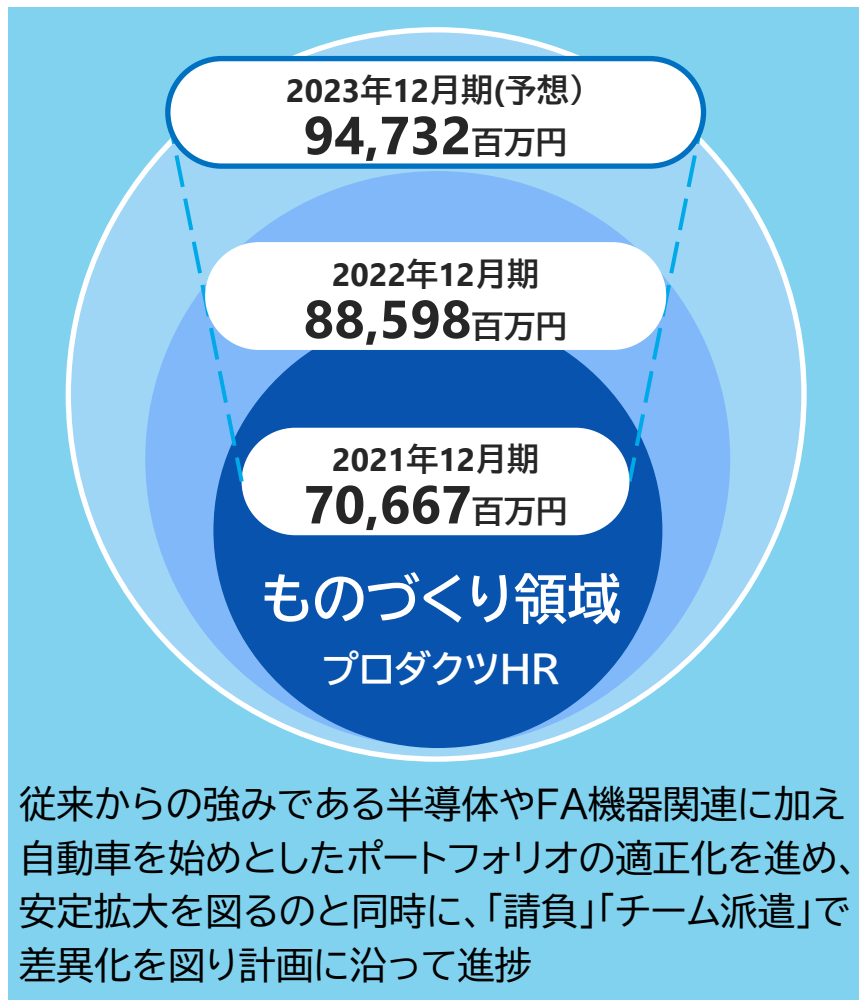
## 2026年度連結数値目標

売上高	営業利益	配当性向
2,750億円	150億円	30%



人材教育ビジネス

## プロダクツHR・サービスHRの「二本柱」が順調に進捗



人材教育ビジネス

2023年12月期  
全体に占める売上高構成比(予想)

**71.6%**

## 不動産ビジネス

- 慎重な事業展開ながらも、強みである不動産M&Aや事業用地の創出ノウハウを活かし、利益確保に繋がる販売用不動産増加に繋げ、業績安定化を図る
- 23年度はマンション案件を多く予定しており、順調な販売状況（①、②、③）
- 行政と共に進める本格的な「まちづくり」案件も着実に進捗（③、④）

### 主な案件例

- |   |         |  |
|---|---------|--|
| ① | 分譲マンション | 『レジデンシャル青葉広瀬川』（三菱地所レジデンスとのJV）              |
| ② | 分譲マンション | 『レジデンシャル原ブランシエラ』（長谷工不動産とのJV）               |
| ③ | 分譲マンション | 『レジデンシャル池袋本町』（豊島区の木造住宅密集地域解消の防災街区整備事業）     |
| ④ | オフィスビル  | 『BIZIA小倉』（北九州市がすすめる「コクラ・クロサキリビテーション」第1号案件） |



レジデンシャル青葉広瀬川



レジデンシャル池袋本町



BIZIA小倉(24年完成予定)

## 農業公園ビジネス

- 自社直営4施設の成長と共に、指定管理案件を増やし、両輪で安定成長を図る
- 立地と業態の多様化を進め、安定的な入園者数確保を図る
- 22年は「大芦高原国際交流の村」の運営開始
- 23年4月から新たに「大阪府立花の文化園」の指定管理者に選定

### 『大阪府立花の文化園』

大阪府河内長野市高向2292-1

花の文化園は、約10ha(甲子園球場の約2.5倍)の敷地内に、大温室やバラ園、クレマチス園、クリスマスローズガーデンなどの植物のほか、レストランや売店、展示やワークショップなどが開催できるイベントホール、会議室など、季節ごとに様々な草花や花木が楽しめ、学ぶことができる植物園です。



神崎農村公園  
ヨーデルの森

新見千屋温泉いびきの里

響灘緑地  
グリーンパーク

北九州市立  
総合農事センター

美濃加茂サービスエリア

滋賀農業公園  
ブルームの丘 直営

安満遺跡公園

こもれび  
森のイバライド 直営

千葉市動物公園内  
ふれあい動物の里

長井海の手公園  
ソレイユの丘

堺・緑のミュージアム  
ハーベストの丘 直営

和歌山城公園動物園

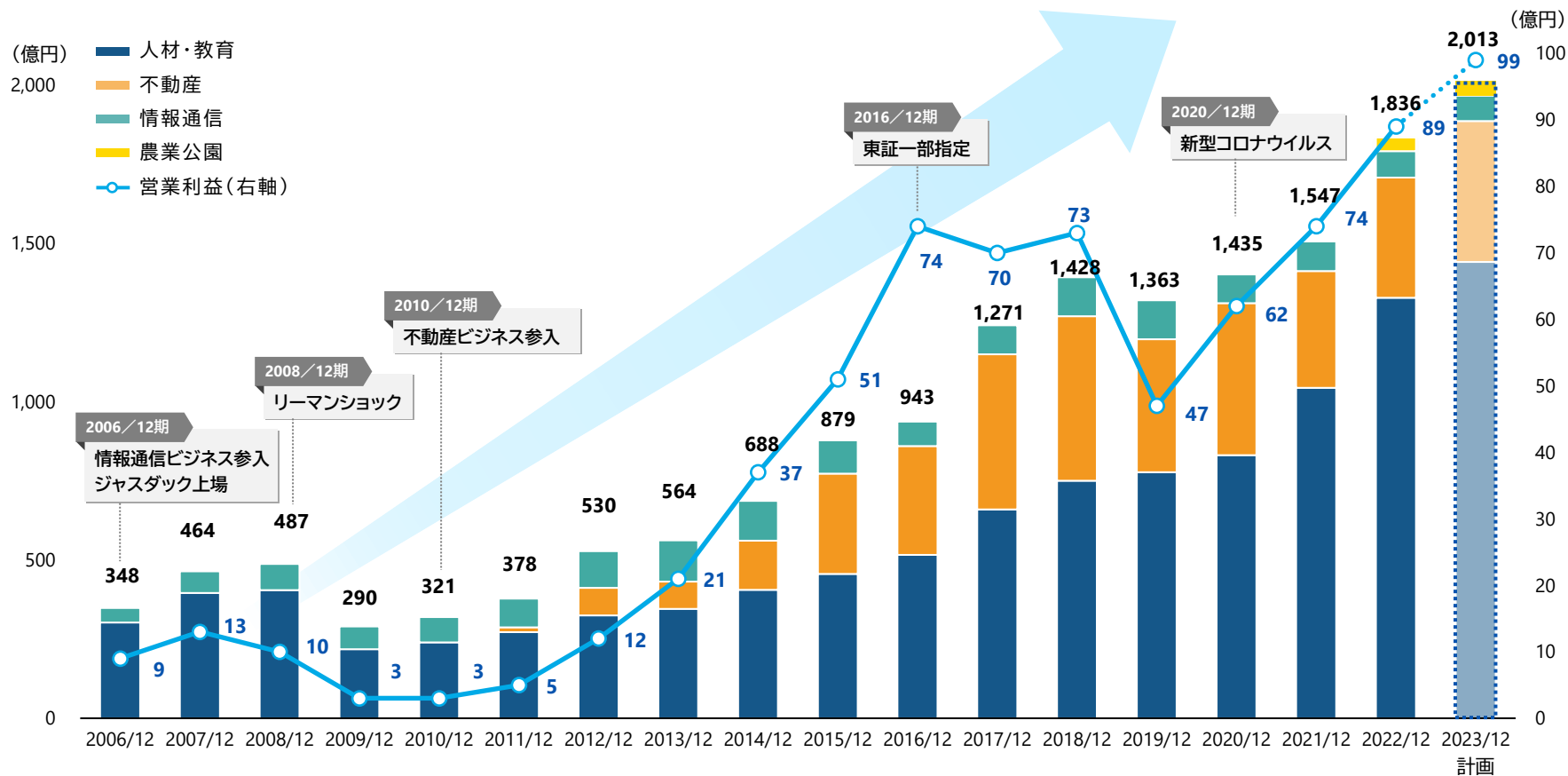
大芦高原国際交流の村

おかやま  
フォレストパークドイツの森 直営

## IV

# Appendix

- P.22 業績推移
- P.23 業績概況(セグメント別)
- P.24 業績概況(四半期推移)
- P.25 財政状態 B/S
- P.26 キャッシュ・フロー



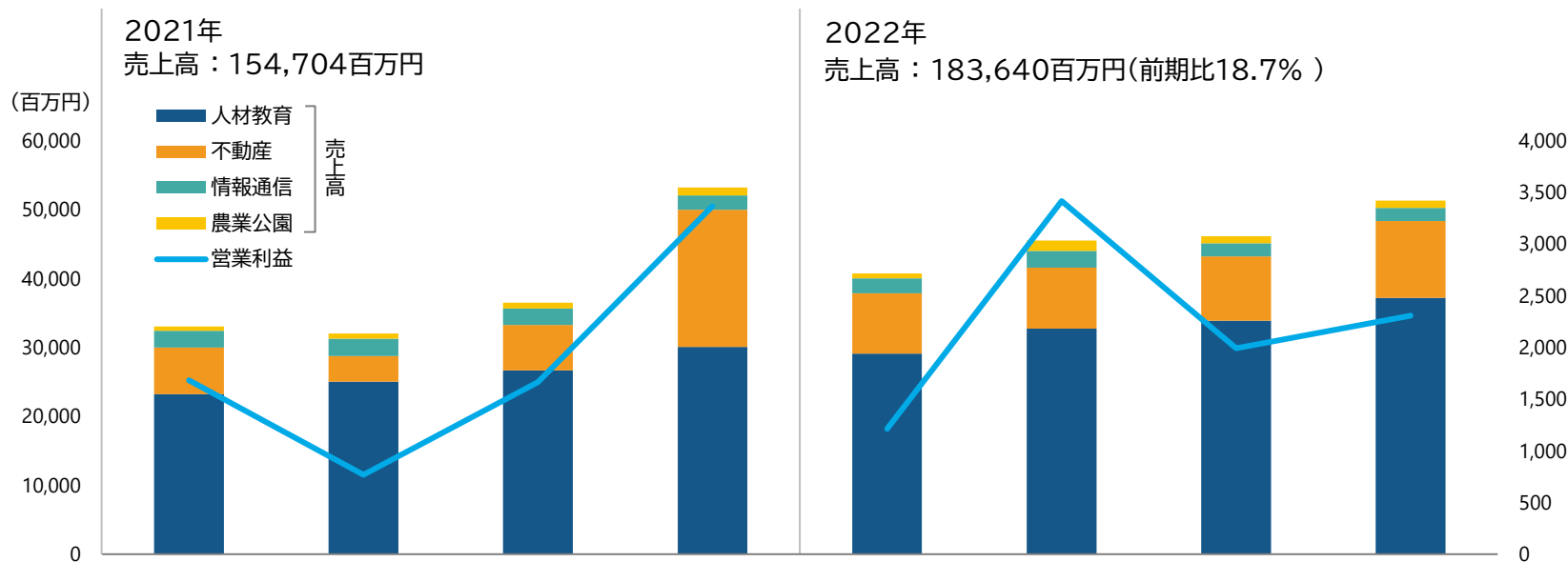
注) 2021/12実績までは旧セグメント区分で、2022/12計画は新セグメント区分で表示

# 業績概況(セグメント別)

- 複数事業のポートフォリオが奏功し増収増益
- プロダクツHR、サービスHRともに順調で、基幹の人材教育が計画を上振れし好調に推移
- 不動産は、的確な販売タイミングを捉え、物件の販売・引渡を計画以上に進捗させ増収増益に

(百万円)		2021/通期 実績	2022/通期 期初計画	2022/通期 修正計画	2022/通期 実績	期初計画比		前期比	
						増減額	増減率	増減額	増減率
人材教育ビジネス	売上高	104,992	116,691	129,449	<b>132,880</b>	16,189	13.9%	27,888	26.6%
	セグメント利益	4,000	3,351	5,152	<b>5,179</b>	1,828	54.6%	1,178	29.4%
	利益率	3.8%	2.9%	4.0%	<b>3.9%</b>				
プロダクツHR事業	売上高	70,667	78,154	84,801	<b>88,598</b>	10,444	13.4%	17,931	25.4%
	セグメント利益	3,088	2,465	4,155	<b>4,054</b>	1,589	64.5%	966	31.3%
	利益率	4.4%	3.2%	4.9%	<b>4.6%</b>				
サービスHR事業	売上高	34,324	38,537	44,648	<b>44,282</b>	5,745	14.9%	9,957	29.0%
	セグメント利益	912	583	996	<b>1,125</b>	542	92.9%	212	23.2%
	利益率	2.7%	1.5%	2.2%	<b>2.5%</b>				
不動産ビジネス	売上高	36,977	38,437	37,868	<b>38,044</b>	△393	△1.0%	1,067	2.9%
	セグメント利益	2,977	2,026	2,840	<b>3,181</b>	1,155	57.0%	203	6.8%
	利益率	8.1%	5.3%	7.5%	<b>8.4%</b>				
情報通信ビジネス	売上高	9,367	9,746	8,517	<b>8,399</b>	△1,347	△13.8%	△967	△10.3%
	セグメント利益	118	227	182	<b>125</b>	△102	△44.6%	7	6.3%
	利益率	1.3%	2.3%	2.1%	<b>1.5%</b>				
農業公園ビジネス	売上高	3,367	3,952	4,165	<b>4,314</b>	362	9.2%	947	28.1%
	セグメント利益	△20	158	226	<b>158</b>	0	0%	179	-
	利益率	-	4.0%	5.4%	<b>3.7%</b>				
合計	売上高	154,704	168,828	180,000	<b>183,640</b>	14,812	8.8%	28,935	18.7%
	消去又は全社	405	481	0	<b>284</b>	△197	△41.0%	△121	△30.0%
	営業利益	7,481	6,244	8,400	<b>8,929</b>	2,685	43.0%	1,447	19.3%
	利益率	4.8%	3.7%	4.7%	<b>4.9%</b>				

## 売上高・営業利益の推移



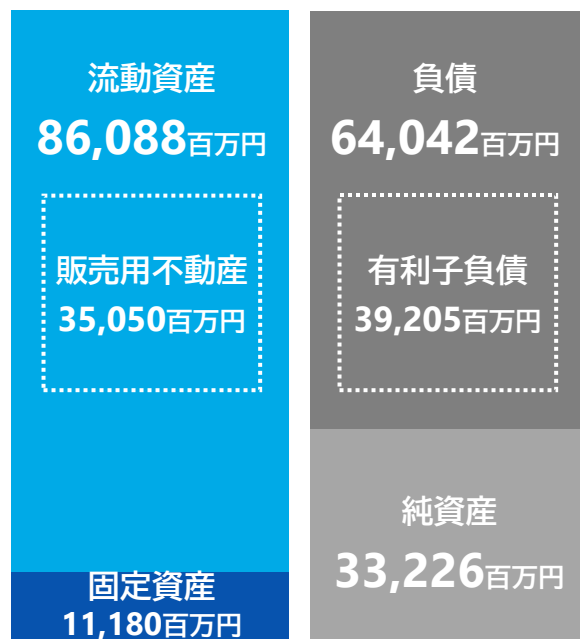
		2021/1Q	2021/2Q	2021/3Q	2021/4Q	2022/1Q	2022/2Q	2022/3Q	2022/4Q
売上高	人材教育	23,199	25,042	26,684	30,066	29,113	32,741	33,861	37,164
	不動産	6,783	3,697	6,587	19,908	8,735	8,815	9,337	11,155
	情報通信	2,443	2,501	2,351	2,070	2,157	2,436	1,882	1,923
	農業公園	605	773	863	1,124	704	1,502	1,056	1,050
セグメント利益	人材教育	888	982	1,009	1,119	1,280	1,317	1,490	1,091
	不動産	740	△340	513	2,063	△57	1,644	491	1,102
	情報通信	4	89	39	△14	△37	113	△23	72
	農業公園	△68	△26	△28	102	△89	273	△39	13
	営業利益	1,682	769	1,663	3,366	1,214	3,415	1,992	2,307



- 主に販売用不動産が増加し、流動資産は22,168百万円増の108,257百万円
- のれんが3,467百万円増加し固定資産が増加
- 有利子負債が16,743百万円増加し、負債は22,353百万円増の86,395百万円

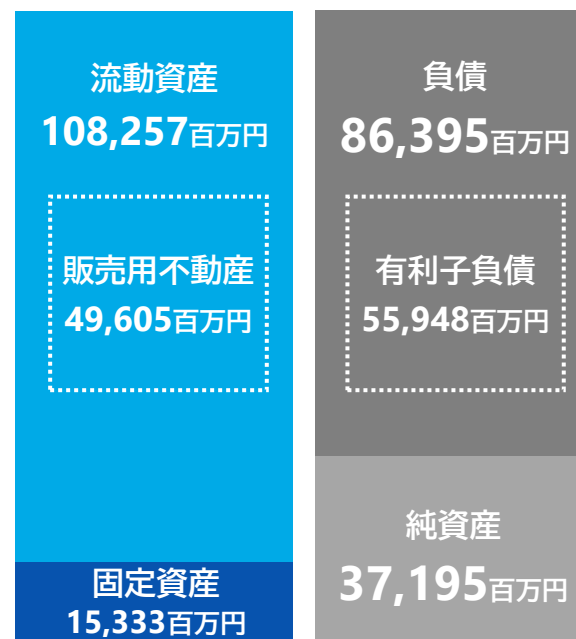
## 2021年12月期末

総資産 **97,269**百万円



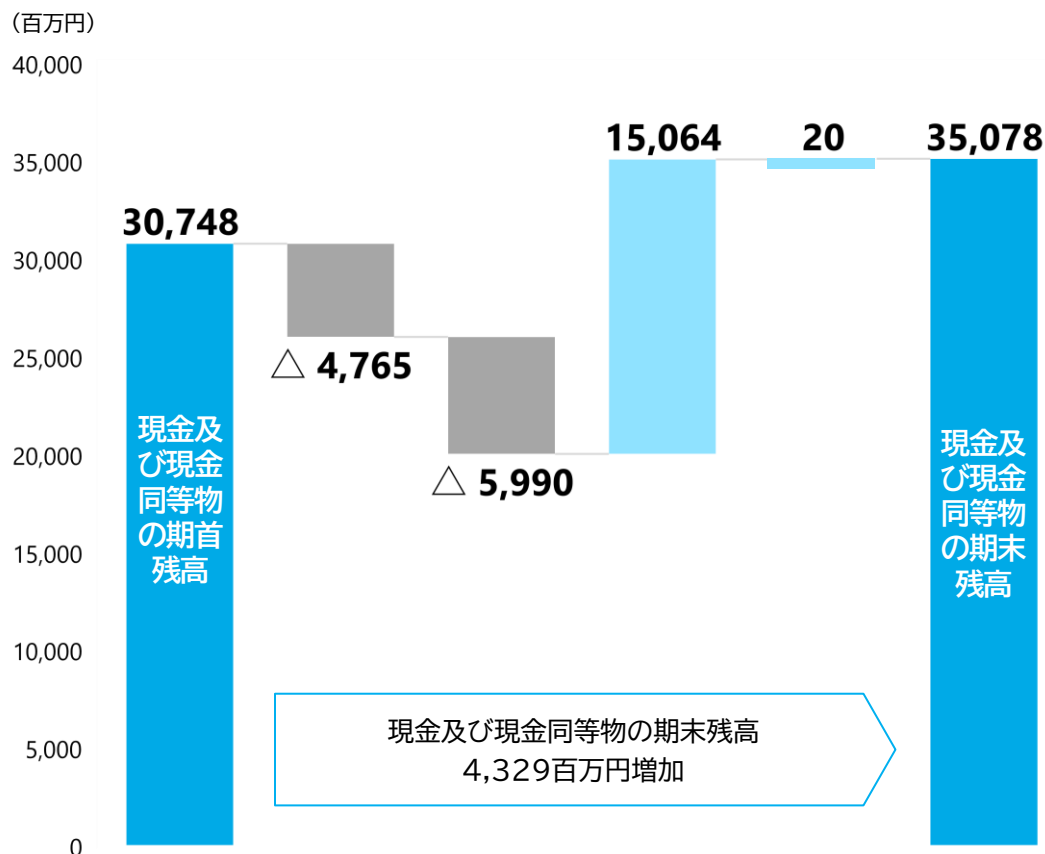
## 2022年12月期

総資産 **123,591**百万円  
(+26,322百万円)



※ 販売用不動産は販売用不動産 + 仕掛販売用不動産合計額

- 販売用不動産の増加による支出(営業CF)
- 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出(投資CF)
- 長期借入れによる収入(財務CF)



## < 今期の主な動き >

### 営業CF

販売用不動産の増減額(増加:△)	△12,075百万円
仕入債務の増減額(減少:△)	△692百万円
前受金の増減額	△373百万円
未払費用の増減額(減少:△)	1,596百万円
売上債権の増減額(増加:△)	△1,615百万円

### 投資CF

有形固定資産の取得による支出	△1,670百万円
連結の範囲の変更を伴う子会社の取得による支出	△4,165百万円
貸付けによる支出	△122百万円

### 財務CF

短期借入金の純増減額(減少:△)	1,254百万円
長期借入れによる収入	24,583百万円
長期借入金の返済による支出	△9,316百万円
配当金の支払額	△1,388百万円

## V

## 会社案内

- P.28 当社グループの存在意義 purpose
- P.29 各セグメントに繋がるパーパス
- P.30 サステナビリティ
- P.31 事業ポートフォリオ
- P.32 主な沿革
- P.33 主なグループ会社
- P.34 人材教育セグメントのビジネス領域
- P.35 不動産セグメントのビジネス領域
- P.36 情報通信セグメントのビジネス領域
- P.37 農業公園施設一覧
- P.38 本資料に関するお問い合わせ

## 世界中にあらゆる人が生きるカタチを 創造することで 人々の幸せと社会の 持続的発展を実現する

世界中の人々がより生き生きと活躍し  
生活できればこの世界はもっと幸せにあふれ、  
発展し、よりよい世界になっていく

私たちの使命はそんな生きやすく  
活力あふれた社会を  
創っていくことです



## 「働く」カタチ

人材教育

あらゆる人々に適材適所の「仕事」を探し生き活きと働く喜びを感じてもらおうとともに教育を通して人がもつ潜在能力を引き出し人の可能性を開花させることで産業の発展に貢献する



## 「まちづくり」のカタチ

不動産

人が生活する上での基本となる快適な「街」をデザインすることで生き活きと生きられる環境を提供し自然環境・地球資源を大切にしまちづくりで社会に貢献する



## 「便利と安心安全」のカタチ

情報通信

新たに登場する「IT」インフラを世に普及し人々に便利さを広めることで安心安全な生活を送れる環境を創り社会の豊かさに貢献する



## 「未来」のカタチ

農業公園

自然環境・地球資源を大切にするとともに未来を担う子供たちの「成長」に必要な育成環境を提供することで社会の持続的発展を下支えする



<p>不動産</p>	<p>農業公園</p>	<p>環境に配慮した暮らしやすい住設備を整え、人々が安心して生活できるまちづくりを進める</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>環境</p>
<p>不動産</p>	<p>農業公園</p>	<p>自然を守り、地球資源を大切に、子供たちが健やかに成長できる環境を保つ</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	
<p>人材教育</p>		<p>あらゆる人に適材適所な仕事を提供し、安定した生活基盤の構築を進めることで貧困をなくす</p>	<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>社会</p>
<p>人材教育</p>		<p>人材育成・質の高い教育を行うことで、あらゆる人の潜在能力を開花させる</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	
<p>人材教育</p>		<p>ジェンダーに拘わらず、あらゆる人が活躍できる働ける場所の提供を進める</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	
<p>人材教育</p>		<p>あらゆる人に適材適所な仕事を提供し、働く喜びを感じられる環境を創り、潜在能力を引き出すことで経済成長に繋げる</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	
<p>人材教育</p>	<p>情報通信</p>	<p>ものづくり産業を下支えするとともに、新たなインフラの普及により技術革新の基盤を創る</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	
<p>人材教育</p>	<p>情報通信</p>	<p>不動産</p>	<p>多種多様な業界との連携や、コンソーシアムモデル等を駆使し社会の持続的成長に繋げる</p>	
<p>ガバナンスの強化</p>		<p>公正・透明・迅速なグループ全体のガバナンス強化・推進 コンプライアンスの徹底／リスクマネジメントの強化</p>		<p>ガバナンス</p>

## Create a Sustainable World.

バランスの取れた事業ポートフォリオにより高い成長を実現し持続的な世界を創造する

### 人材教育ビジネス



プロダクツHR事業

サービスHR事業



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

人が生きるカタチ



変化への対応力を重視した  
ビジネスモデル構築

業種分散

地域分散

フロー  
ビジネス

ストック  
ビジネス

### 不動産ビジネス



不動産事業

### 情報通信ビジネス



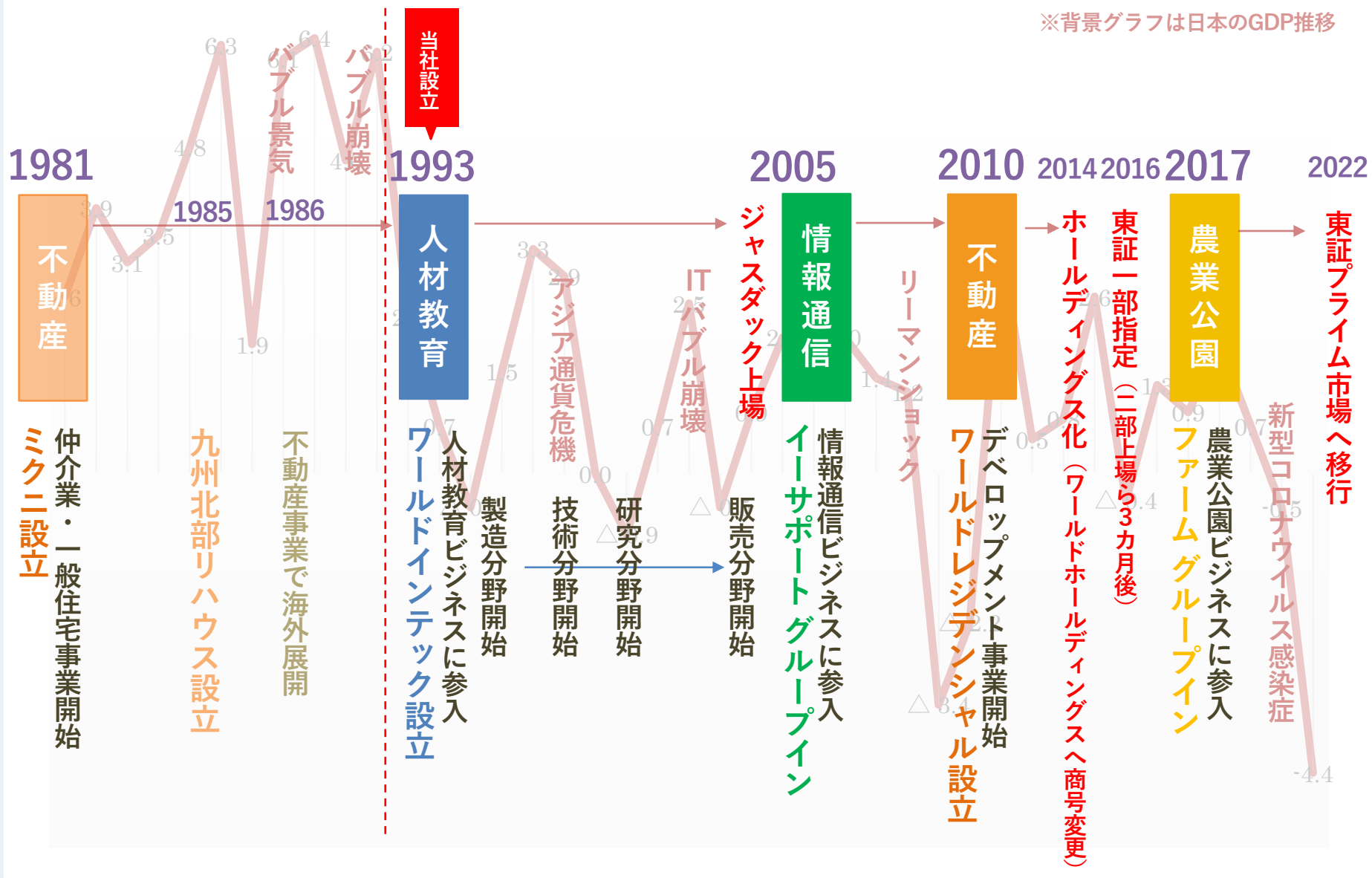
情報通信事業

### 農業公園ビジネス



農業公園事業

※背景グラフは日本のGDP推移





## ワールドホールディングス

### 人材教育ビジネス

#### プロダクツHR事業

**ワールドインテック**  
人材サービス  
(製造・技術・研究開発)

**ワールドコンストラクション**

人材サービス(建設技術)

**TOHO WORLD**

人材サービス(素材関連)

**台湾英特科**

人材サービス【台湾】

**EngmaIntec**

人材サービス【中国】

**WORLD INTEC AMERICA**

人材サービス【アメリカ】

**ワールドグローバルサポート**

技能実習生導入支援

**DOT ワールド**

臨床試験(CRO)

**NIKKEN**

カメラ・デジタル機器修理

**九州地理情報株式会社**

地理情報システム開発

**ワールドシステムサービス**

ソフトウェア受託開発

**CreationView Co., Ltd.**

ソフトウェア受託開発

**Advan**

PCスクール・Web制作

**ガイアク**

人材サービス(製造・プラント)

#### サービスHR事業

**ワールドスタッフィング**  
人材サービス  
(物流・軽作業・コールセンター)

**JW ソリューション**

人材サービス(ツーリズム)

**ディンプル**

人材サービス(接客販売)

**Wakrak**

短期バイトアプリ ワクラクの開発・運営(非連結)

### 不動産ビジネス

**ワールドレジデンシャル**  
デベロップメント(関東)

**ワールドアイシティ**

デベロップメント(東北)

**ワールドウイステリアホームズ**

デベロップメント(関西)

**ニチモリアルエステート**

不動産コンサルティング

**コンパックス**

マンション・ビル管理

**WORLD DEVELOPMENT INDONESIA**

デベロップメント【インドネシア】(非連結)

**オオマチワールド**

ユニットハウス製造

**ワールドシェアセリソフ**

ユニットハウス販売(非連結)

**ココペリ**

不動産人材サービス(非連結)

#### 金融関連

**ワールドアセットマネジメント**  
不動産ファンド運営(金商法)(非連結)

**ワールドキャピタルソリューション**  
不動産ファンド運営(不特法)

**みらい債権回収**  
債権回収(非連結)

**MIKUNI**  
総合不動産

**リノバメクニ**

リノベーション

**エムズワールド**

リノベーション(北海道)

### 情報通信ビジネス

**E-SUPPORT**  
コールセンター・ショップ運営

**NETWORK SOLUTION**

モバイルショップ運営(Softbank)

**ワールドスタイル**

モバイルショップ運営(au)

**ベストITビジネス**

法人ソリューション

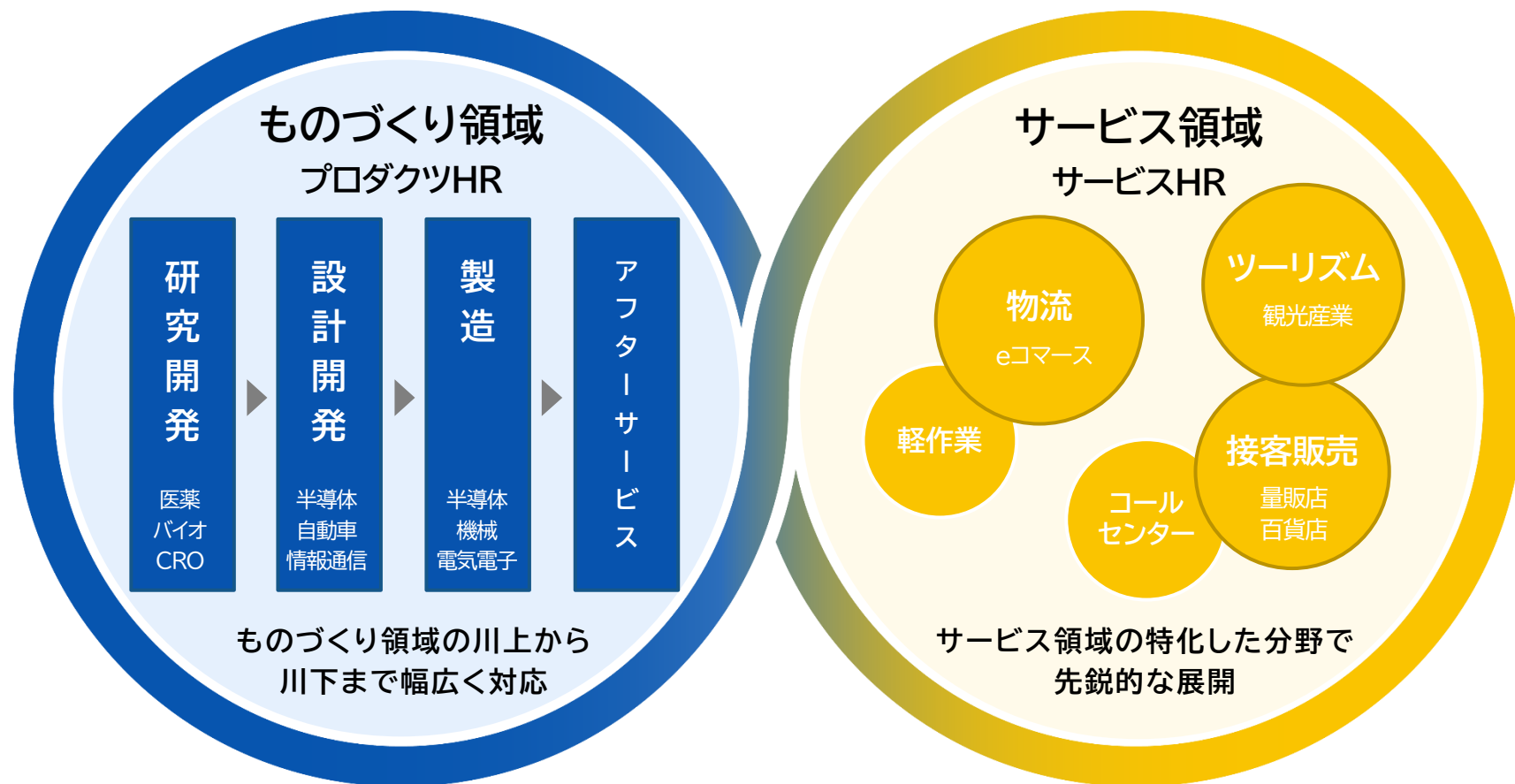
### 農業公園ビジネス

**ワールドインテック**  
農業公園の管理運営

**株式会社 クラウデイト**

農業公園の管理運営

## 幅広い領域をシームレスにカバーした業務請負・人材派遣



約 **36,600** 名の稼働人数 ※ 2022年12月現在

## あらゆる外部環境変化へ対応可能な体制を構築

## 現物不動産

## デベロップメント

マンション・戸建  
事業用地開発

東北圏・首都圏・近畿圏・九州圏で  
主要都市に特化し事業展開

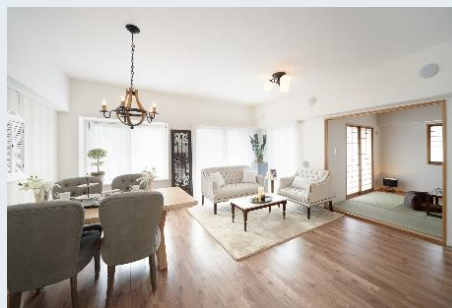


レジデンシャル青葉広瀬川《宮城県仙台市》

## 不動産再生

リノベーション  
コンバージョン

全国でリノベーション等の  
不動産再生関連事業を展開



リノベーション例

## 不動産信託受益権

## 不動産金融

アセット  
マネジメント

不動産ファンド運営



BIZIA 麹町ビル



## モバイルショップ

### 九州地域最大級の店舗網

携帯電話ショップを、福岡県、佐賀県、大分県、長崎県、沖縄県にて展開

- Softbank ショップ
- au ショップ

**33**店舗

2022年12月現在



## 法人ソリューション

企業向けに、各種商材の販売を通して、電力、通信費等のコスト削減提案を実施

### トータルコスト削減ソリューション



### コールセンター

個人・法人向けに様々な商材を販売



## 全国14か所で自然あふれる農業公園等を展開

直営施設4か所と指定管理・業務受託等 計14か所の運営

### 地域に密着し、地域経済・雇用にも貢献



自家製のソーセージ、菓子、  
ビールなどの製造・販売も行う



## 人が生きるカタチ



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更される事があります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。

---

株式会社ワールドホールディングス  
広報IR室 西原 範朗

☎ TEL 03-3433-6005  
✉ E-MAIL [irinfo@world-hd.co.jp](mailto:irinfo@world-hd.co.jp)  
🌐 URL <https://www.world-hd.co.jp/>